注１　別記様式第４の注１の例により記載すること。
２　別記様式第４の注２の例により記載すること。
３　別記様式第４の注３の例により記載すること。
４　別記様式第４の注４の例により記載すること。
５　別記様式第４の注５の例により記載すること。
６　別記様式第４の注６の例により記載すること。
７　別記様式第４の注７の例により記載すること。
８　別記様式第４の注８の例により記載すること。
９　別記様式第４の注９の例により記載すること。
10　イ　元素重量若しくは核分裂性物質重量が８桁を超えることにより複数行で報告する必要が生じる場合は、当該欄の２行目以降に「Ｃ」と記載すること。
ロ　既に報告したデータを削除する場合は「Ａ」と記載すること。
11　次の表の左欄に掲げる区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。ただし、在庫変動の端数調整については、該当する符号の後に別記様式第４の注13の表の左欄に掲げる原因又は事項に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

期首実在庫（前回の報告対象期間に行った実在庫量の確認において記録した全ての実在庫量の代数和）	ＰＢ
在庫変動（報告対象期間内に確認された全ての在庫変動の原因又は事項ごとの記録の数量の代数和）	別記様式第４の注13の例による
在庫変動の端数調整（国際規制物資の使用等に関する規則第48条第３項、第７項、第８項又は第12項に基づき提出する報告書により報告した全ての在庫変動の原因又は事項ごとの数量の代数和から当該報告書の在庫変動の欄の数量を差し引いた値）	ＲＡ
期末帳簿在庫（期首実在庫の四捨五入を行わない数量と在庫変動の四捨五入を行わない数量との代数和）	ＢＥ
期末帳簿在庫の端数調整（期首実在庫の欄の数量と在庫変動の欄の数量との代数和から期末帳簿在庫の数量を差し引いた値）	ＲＡＢＥ
受払間差異（報告対象期間中に記録した全ての受払間差異の数量の代数和）	ＤＩ
受払間差異の端数調整（国際規制物資の使用等に関する規則第48条第３項、第７項、第８項又は第12項に基づき提出する報告書により報告した全ての受払間差異の数量の代数和から当該報告書の受払間差異の欄の数量を差し引いた値）	ＲＡＤＩ
調整済期末帳簿在庫（期末帳簿在庫の四捨五入を行わない数量と受払間差異の四捨五入を行わない数量との代数和）	ＢＡ
調整済期末帳簿在庫の端数調整（期首実在庫の欄の数量と在庫変動の欄の数量との代数和から受払間差異の欄の数量と調整済期末帳簿在庫の欄との数量の代数和を差し引いた値）	ＲＡＢＡ
期末実在庫（報告対象期間に行った実在庫量の確認において記録した全ての実在庫量の代数和）	ＰＥ
期末実在庫の端数調整（国際規制物資の使用等に関する規則第48条第10項又は第12項に基づき報告する報告書により報告した全ての実在庫量の代数和から期末実在庫の欄の数量を差し引いた値）	ＲＡＰＥ
在庫差（調整済期末帳簿在庫の四捨五入を行わない数量から期末実在庫の四捨五入を行わない数量を差し引いた値）	ＭＦ
在庫差の端数調整（調整済期末帳簿在庫の欄の数量から期末実在庫の欄の数量を差し引き、さらに在庫差の欄の数量を差し引いた値）	ＲＡＭＦ

12　別記様式第４の注18の例により記載すること。
13　別記様式第４の注19の例により記載すること。
14　核燃料物質の区分及び収支項目ごとに報告期間中の重量の合計をグラム単位で記載し、１グラム未満の端数は四捨五入すること。
15　別記様式第４の注21の例により記載すること。
16　トリウムにあっては空白とし、その他にあっては核燃料物質の区分及び収支項目ごとに報告期間中の重量の合計をグラム単位で記載し、１グラム未満の端数は四捨五入すること。
17　別記様式第４の注23の例により記載すること。
18　別記様式第４の注25の例により記載すること。
19　別記様式第４の注26の例により記載すること。

備考１　この用紙は、日本産業規格Ａ４のつづり込み式とすること。
２　ウランの区分変更を記載する場合は、当該区分変更に関係したウランの濃縮度のいずれか高い方の区分についてのみ記載すること。
３　この報告書は、ＭＢＡごとに別葉で作成すること。